

令和 7 年度 事業計画



未来パレット

北九州 E S D 協議会

事業計画

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日)

1. 北九州 ESD 協議会の活動

北九州 ESD 協議会は、「持続可能な社会の構築」を目指し、市民団体、NPO、教育機関、企業、行政など、多様な主体が協働するゆるやかなネットワーク組織として、平成 18 (2006) 年 9 月 28 日に設立されました。同年 12 月には国連大学高等研究所より ESD 地域拠点 (RCE) として認定を受け、以降、国内外の RCE との交流や国際会議への参加を通じて、グローバルなネットワークづくりにも取り組んでいます。

平成 27 (2015) 年には国連において SDGs (持続可能な開発目標) が採択され、北九州市は平成 30 (2018) 年、OECD による「SDGs 推進に向けた世界のモデル都市」や国の「SDGs 未来都市」「自治体 SDGs モデル事業」に選定されました。当協議会もこうした動きと連携し、ESD 人材の育成と情報発信の地域拠点としての役割を果たしてきました。

令和 4 (2022) 年度には、より開かれた参加型の運営体制を目指し、会員の意見をくみ取りながら、「会員が主体となる組織運営づくり」の検討をすすめ、令和 5 (2023) 年度より、「合同委員会」「活動委員会」「未来創造委員会」を中心とした新体制へ移行。令和 6 (2024) 年度には拠点の移転や人件費の見直しといった課題に直面しながらも、既存事業の継続と新たな取り組みを展開しました。

主な取り組み実績 (令和 6 年度)

- ・ 広報誌『未来パレット』の発行
- ・ 韓国スタディツアーの実施
- ・ 定例交流イベント「ESD ツキイチの集い」
- ・ 出前講座の実施
- ・ 未来創造委員会による独自イベントの企画運営
- ・ チーム活動推進事業
- ・ RCE 国内実務者会議のホスト開催 (若者の積極的な参画が顕著)

2. 組織・活動体制

【総会】 団体会員：102 団体／個人会員：44 名（令和 7 年 3 月 31 日時点）

【役員会】 代表：日高京子
副代表：鶴田直、竹永政則、北野久美、松尾まゆみ、岩佐健史
監事：川原昌喜、花崎正子
顧問：近藤倫明

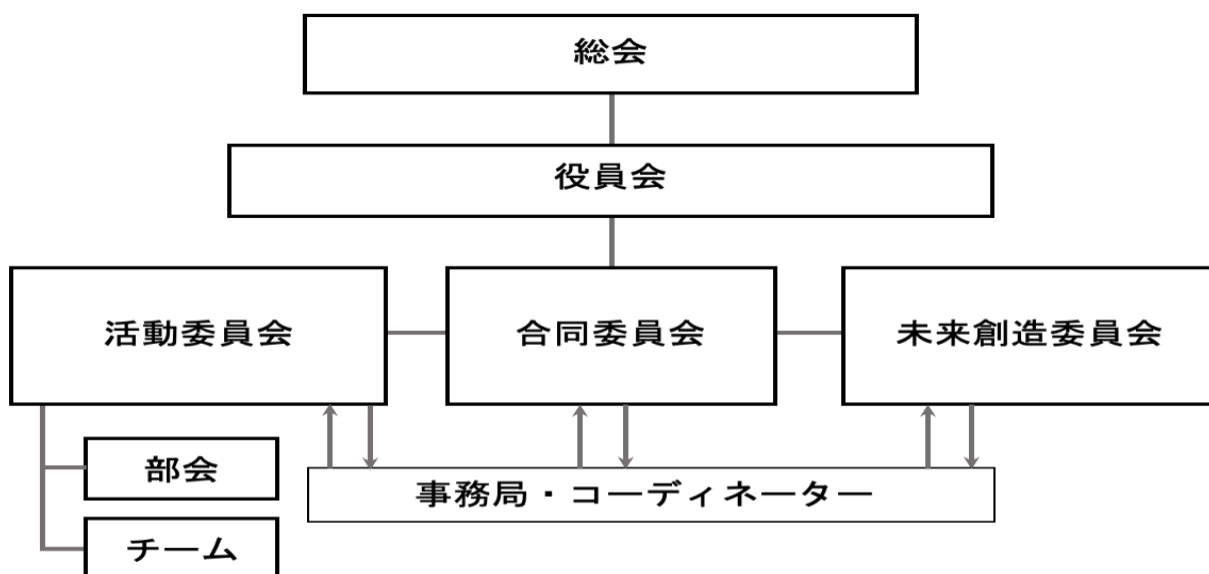
【合同委員会】 原賀いずみ、川島伸治、村江史年、谷本潤、武富里枝（環境学習課）
※事務局・コーディネーターは運営として参加

【活動委員会】 原賀いずみ、川島伸治、塚本美紀、末永和也、武富里枝（環境学習課）
※事務局・コーディネーターは運営として参加

【未来創造委員会】 村江史年、谷本潤、成田詩歩、八百屋さやか、吉永徠愛、高城将英、
福武和也、野津颯翔、教育委員会担当、武富里枝（環境学習課）
※事務局・コーディネーターは運営として参加

【拠点】 毎日西部会館

北九州ESD協議会の活動体制



3. 令和7年度の基本方針と重点事業

令和7年度は、「北九州 ESD アクションプラン 2021～2025」の最終年度にあたります。これまでの取組と成果を振り返るとともに、今後の協議会の在り方を見据えた体制づくりに取り組む重要な年となります。

本年度は、ESD の実践の場としての協議会機能をより一層強化し、ユース世代の参画と育成、新規団体の参入促進、地域を超えた RCE ネットワークとの連携強化など、次のステージに向けた基盤づくりに注力します。

また、運営面では、未来創造委員会および活動委員会にそれぞれ担当者(コーディネーター)を置き、会員の皆様の協力を得ながら、委員会運営の円滑化と事務局機能の補完を図ります。これにより、より開かれた協議会運営と、会員の満足度向上につながる支援体制の構築を目指します。

I. 基本方針

1. 会員の関心を軸とした柔軟な活動推進

会員が自発的に参加できる「チーム型活動」の仕組みを育成・支援し、関心のあるテーマに取り組める場を広げます。

2. 若者の参画と育成の推進

未来創造委員会を中心に、ユース世代が企画・運営に主体的に関わる機会を確保し、持続可能な地域社会の担い手育成を進めます。

3. 既存部会の知見の継承と活用

これまでの蓄積を活かし、ブランディング部会、調査研究・国際部会などの活動を継続・発展させるとともに、他部会やチーム活動との有機的連携を図ります。

4. 広報・発信機能の強化

『未来パレット』の再編や SNS・ウェビナーの活用を通じて、ESD や会員活動の見える化と発信力の強化に取り組めます。

5. 次期アクションプランの策定

国内実施計画の動向等を踏まえた上で、今後の次期アクションプランについては段階的に検討していきます。

Ⅱ. 組織別事業計画

(1) 活動委員会

- ブランディング部会
 - ・ ESD 啓発物品の企画・制作
 - ・ 地域資源と連動したブランディング推進
- 調査研究・国際部会
 - ・ 北九州地域の ESD 活動に関する調査
 - ・ 韓国等の海外 RCE との交流（例：スタディツアー）
- チーム活動推進事業
 - ・ 会員による課題解決型チーム活動の支援
 - ・ 広報・助成・コーディネート等による中間支援機能の強化

(2) 未来創造委員会

- ・ 若年層への ESD の普及と興味喚起
- ・ ユース主体の企画立案と実行の場づくり
- ・ 民間企業・団体との連携による実践的 ESD 活動の創出

(3) 協議会全体の取り組み

- ・ 『未来パレット』の発行（年 2 回）
- ・ ESD 出前講座の支援（カタログ活用・講師調整）
- ・ RCE ネットワークとの連携（全国・アジア圏との交流）
- ・ Facebook・ウェブ等を活用した情報発信
- ・ 年次総会・活動報告会の開催